

## JFA アカデミー将来計画に関する考え方

### 日本サッカーの大目標

JFA2005年宣言 2015年の約束「世界トップ10を目指す」

#### その中における JFA アカデミー設置の意義・目的：

- ・プルアップ効果によるユース育成のさらなるレベルアップ
- ・育成のモデルを全国に提示すること
- ・日本サッカー協会の育成のフィロソフィーを全国に提示すること

したがって、JFA アカデミー福島1箇所ですべての選手を育成するのみでは、この目的から考えると不十分であり、このアカデミーの考え方をより全国に効果的に広め、日本全体のユース育成に働きかけるためにも、同じコンセプトで活動をする機関を全国で数箇所に増やしていくことが重要であると考えます。

特にユース年代では、可能性のある選手は全国に点在しており、それらのポテンシャルに効果的に働きかけることで、レベルの高い個の発掘・育成、ひいては日本サッカーのレベルアップの確立を高めていくことができると考えます。

JFA アカデミー福島を核として、将来に向けて計画的にこの目的に向けての手段を検討していく必要がある。

JFA がモデルとしたフランスサッカー協会での取り組みも同様の考え方であり、センター数を徐々に増やし、さらに同じコンセプトとクオリティーが共有できるという条件で、プロクラブとも連携し、センター数を増やしている。

#### 日本サッカーの強化・育成における現状の問題点：

3種、特に中学1年、2年の体制が薄く、3種のチームに所属しても、13歳、14歳という貴重な時期を十分な適切な活動が行えないケースがほとんどである。

また、地域によっては活動を高いレベルで継続していくことのできる中学やクラブが全国に十分にあるとは言えず、サッカー部のない中学校もあり、中学生になる段階で適切な活動の場を見つけるのが非常に困難な場合がある。

それらの要因から、この年代でのタレントの発掘・育成が順調に進んでいない。特に成長の著しい年代に、可能性のあるタレントを多く失っている現状がある。

中学校を対象にアカデミーを広げることにより、タレント発掘・育成を高いレベルで進め、あるいは周囲に刺激を与えることで、日本サッカー全体に働きかけることができる。

また選考の基準を示すことで、U-12までの望ましい育成を示すことができる。

#### 地域の拠点としての役割：

地域の拠点として機能し、地域にフィロソフィーや方法を発信するとともに、ハード面、ソフト面の両面で地域のサッカーの発展に貢献・寄与することが期待される。

#### 女子の場合：

女子は競技人口も少ないことから、より代表に直結した活動となる。

また3種になるとチーム数が激減することから、小6まで続けていたタレントが競技の場を失い離れてしまったり、または高いレベルの指導を受けることができなかつたりするケースが多い。その受け皿として、代表レベルのタレントを集めて代表に直結することを主眼とし、その目的で、活動の場の少ない地域数箇所の開設

が望まれる。

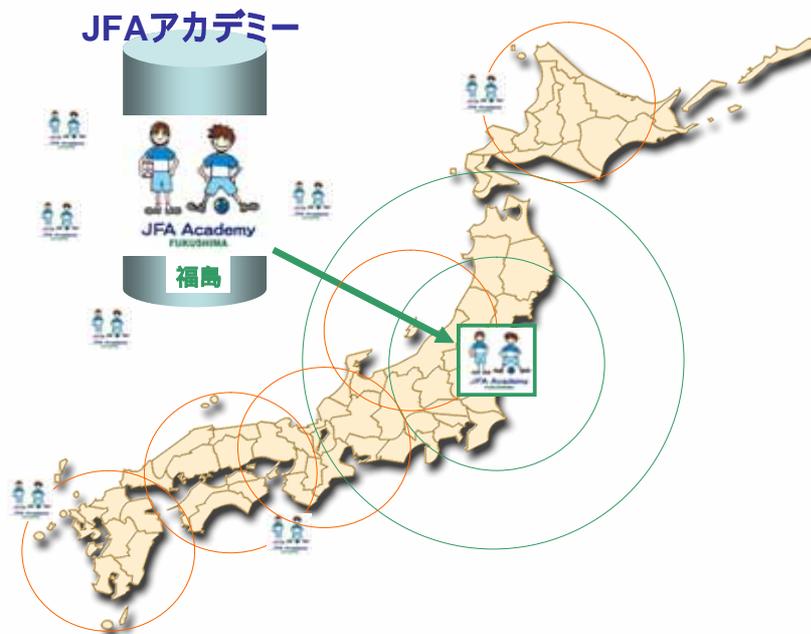
**位置づけ：**

JFA アカデミー福島は、JFA 直轄の軸となるアカデミーと位置づける。

県、教育委員会との調整による対応、中高一貫校のモデルとして広く社会へ発信する存在としても位置づけられる。

他地域に今後新設する JFA アカデミーに関しては、男子の場合は中学のみとして増やしていくことで、上記の問題点を解決していく。中学のみとすることで、地域との協力によってより簡易な形で実現できる可能性がある。また、毎週末に帰らせる体制とすることも可能となる。主催する立場からも、入学する立場からも、より検討・準備しやすいものとなるであろう。

現状の福島一箇所では、東北、関東、最大でも関西あたりまではカバーできるが、中国、四国、九州からは距離的に隔たりが大きく、入学者の側に負担がある。現状では入校を希望してもなかなかトライすることが難しい状況である。才能ある選手は全国に散在しており、それをカバーするためにも、全国に数箇所のアカデミーが開設され、地域性を生かしたアカデミーが運営されることが望ましい。



**今後の展開**

他地域でのアカデミー開設のための検討グループ( )を編成し、環境、運営、人材、経費等の検討項目や開設に必要な条件等を整理する。併せて開設を希望する地域の調査を開始し、実施の可能性を検討する。

4月20日まで・・・検討グループの立ち上げ

5月以降・・・条件整理、候補地の検証

10月理事会・・・候補地の検討結果報告(開設見込み、今後のスケジュール等)

**検討グループメンバー(案)**

JFA アカデミー福島スクールマスター、男女ヘッドコーチ、技術委員長、ユースダイレクター、技術部長他